

SUBWAY NEWS LETTER 7

回覧



さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会 第17号

新会長の下、名称を変え、新たにスタート!

書面決議により承認

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、三密回避の観点から令和2年度は総会に替わり書面決議を実施しました。書面決議では、令和元年度の諸活動の報告、延伸地域の関係機関との連携強化と国への認可申請の早期実現を目標とした令和2年度予算・事業計画が承認されました。特に、今後の活動目標を明確化するため、期成会の目的及び名称を改めました。今後は、延伸事業化推進期成会から延伸認可申請事業化実現期成会に改め、延伸事業認可の早期申請に向けた活動を積極的に展開し、延伸事業化の早期実現を図ることを目的に活動して参ります。

また、今期は役員改選期にあたり、役員の改選が行われました。平成24年9月に期成会が成立して以来、8年に渡り江田元之会長にご尽力いただいておりますが、今回の書面決議により、佐伯鋼兵副会長が新たに会長に就任されました。江田前会長に置かれましては、今後は相談役として期成会にご支援をいただけることとなりました。

- 実施期間 8月7日(金)～9月4日(金)まで
- 回答者 210名



江田前会長から佐伯新会長へ引継ぎ

江田元之 前会長(現相談役) 挨拶

本来であれば、総会等皆様の前でご挨拶をさせていただくところですが、この場にて失礼致します。

会長の職にありました8年間、皆様には温かいご支援・ご指導を賜り心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後は、佐伯新会長のもと会の名称も「延伸認可申請事業化実現期成会」となり、活動も新たな段階に踏み込んでいくことになるとは思います。延伸事業化に向けた取組みがより活発に行われることを期待しております。

また、私も今後は相談役の立場で期成会や関係機関の皆様方にご協力させていただきますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

佐伯鋼兵 新会長 挨拶

本期成会も設立から8年が経過し、さいたま市をはじめとする関係機関の皆様のご尽力により国への延伸事業化の環境も整っていると認識しております。

そのため、延伸事業化の第一歩である「認可申請」を期成会の短期的な目標と位置付け、本年度より本期成会の名称を「延伸認可申請事業化実現期成会」と改め、会の目標をより具体的に、より明確にし、会員の皆様、関係機関の皆様方としっかりと目標を共有しながら、これまで以上に一体となった実効性の高い活動をしてまいりたいと思います。

令和2年度 事業計画

自:令和2年4月 1日
至:令和3年3月31日

令和2年度については、事業化への重要なポイントである「事業認可の早期申請」に向けた活動の定着及び、さらなる発信・推進を強力に進める。

特に今年度は、Withコロナという厳しい環境の中、延伸で繋がる近隣の行政や経済団体等と本期成会がより一層一体となり、延伸の早期実現という目標をしっかりと見据え、活動の推進に取組むこととする。

1 国への認可申請に向けた進捗状況の把握と実現への取組み

- (1)さいたま市及び国会議員・県・市議会議員との意見交換会の開催
- (2)認可申請に向けた課題の明確化と解決に向けた提案のための調査研究

2 陳情・要望・提言活動による働きかけの強化

- (1)行政・関係機関への継続した陳情・要望・提言活動の実施

3 機運醸成・啓発事業

- (1)様々なメディア、会報誌、ホームページ等による延伸活動の情報発信
- (2)関係機関と協働した延伸促進への取組み
- (3)その他延伸に資する取組み

埼玉県、埼玉県議会、地下7議員連盟へ要望書を提出

と き: 令和2年11月12日(木)午後3時45分より
場 所: 埼玉県庁、埼玉県庁議事堂
提出先: 埼玉県知事 大野 元裕、埼玉県議会議長 田村 琢実
地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟
小島 信昭

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸の早期事業化実現に向け、大野埼玉県知事並びに田村埼玉県議会議長、小島地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟会長へ要望書を提出しました。

期成会からは佐伯会長、江田相談役、筑波副会長、当商工会議所からは池田会頭、北副会頭、安藤副会頭、高橋副会頭が出席しました。

さいたま市ではこれまでの学識・有識者等の検討を踏まえ、埼玉県も参画した実務者の視点で延伸にかかる課題解決に向けた「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸実務関係者会議」を開催し、技術的な深度化に取り組んでおります。

さらに埼玉県は、埼玉高速鉄道株式会社の株主であり、知事は取締役会長でもあることから、延伸の事業者として想定される埼玉高速鉄道株式会社に対する影響力は大きいものと考えております。

つきましては、大野知事及び埼玉県議会、地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟の皆様方のリーダーシップのもと、さいたま市及びさいたま市議会、さらには県民・企業・関係団体と一体となった延伸のための需要創出の取組み強化及び、一日も早い地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸に向け、事業者に対し国への認可申請着手を要望するとともに、事業者の延伸への判断を促すためにも下記の通り要望書を提出しました。

- ①特に埼玉高速鉄道株式会社へのウイズ・アフターコロナを踏まえた経営力向上へのさらなる支援・協力
- ②延伸線沿線についてさいたま市と協力・推進、特に埼玉スタジアム2002の利活用や順天堂大学付属病院誘致について官民一体となった推進
- ③延伸について都市鉄道等利便増進法の適応を前提に事業者への要請の具体的な行程表の明確化



大野知事へ要望書提出



田村議長へ要望書提出

さいたま市・さいたま市議会へ要望書を提出

と き: 令和2年11月4日(水) 午前10時15分より
場 所: さいたま市長室、さいたま市議会議長室
提出先: さいたま市長 清水 勇人、さいたま市議会議長 渋谷 佳孝

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸の早期事業化実現に向け、11月4日に、清水さいたま市長並びに渋谷さいたま市議会議長へ要望書を提出しました。

期成会からは佐伯会長、江田相談役、筑波副会長、さいたま商工会議所からは池田会頭、北副会頭、高橋副会頭が出席しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大対策による社会生活の変化などまちづくり進展にも影響が想定され、今までにない視点で戦略を図るなど、取組みの強化が求められております。

さいたま市では、これまでの学識・有識者等の検討を踏まえ、実務者の視点で延伸に係る課題解決に向けた「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸実務関係者会議」を開催され、技術的な深度化が図られていると推察しており、こうした発展的な動きがあるなか、清水市長へ国への地下鉄7号線延伸認可申請の決断を、渋谷議長へ事業着手の働きかけの推進を要望するとともに、下記の通り要望書を提出しました。

- ①埼玉高速鉄道株式会社へのウイズ・アフターコロナを踏まえた経営力向上へのさらなる支援・協力
- ②延伸線沿線のまちづくりは埼玉県と協力し推進、特に中間駅周辺のまちづくりは埼玉県及び白目大学と連携し、具体的なまちづくり計画の策定
- ③延伸について都市鉄道等利便増進法の適応を前提に事業者への要請の具体的な行程表の明確化



清水さいたま市長へ提出



渋谷市議会議長へ提出



鉄道今昔物語 第14話

鉄道車両の空調設備

本紙が休刊していたため、前号でも皆さまに令和二年の年頭のご挨拶をさせて頂きましたが、あれから早いもので、もう一年が過ぎ去ってしまいました。あらためまして、令和三(2021)年のご挨拶をさせて頂きます。

みなさま、明けまして、おめでとうございます。

昨年からコロナウイルスの世界的な感染拡大により、多くの方が被害に遭われております。特に、高齢者では重篤化することが多く、日々のニュースで語られる被害状況がとても気になり、心休む暇がありません。

そして、私たちの普段の生活にも大きな影響が出ており、もはや、マスクさえ着衣の一つと成り上がった感があり、屋外以外では必携となってしまいました。

流行語大賞にも値する「3密(密集・密接・密閉)」。この3密、こと通勤電車にあつては、全てが当て嵌まってしまうという、鉄道側から見れば非常に忌々しい状態ではありますし、利用者側からしても、とても心配な点ではあります。

先日、大手空調機メーカーの方に取材する機会に恵まれ、時節柄、鉄道車両の空調のお話を伺うことが出来ました。鉄道車両の空調メーカーも国内には数社あり、それぞれが特徴を持ち、独自の設計をなされ

ているので、一概には言えないのですが、現在走行している多くの鉄道車両は、換気装置も装備されているそうです。

車型にも因りますが、数分で換気が完了できるようになっているようで、さらに一部の社局では、オゾン型の空気清浄器も組み込まれていて、抗菌作用の期待も出来るそうです。

特に、近年多く見受けられる、開けられる窓の少ない車両ほど、換気装置が強化されているそうです。確かに、現在、通勤ラッシュはほぼ以前に近い状態まで戻っており、先の密集・密接・密閉は通勤電車では当たり前の風景と化していますが、クラスターが通勤電車内で発生したというニュースは、見当たりません。

勿論、通勤者ひとり一人を追求することが難しいこともありますが、クラスターが発生していないという事実は、やはり鉄道車両の優秀さの表れであり、鉄道利用の安全性を立証しているものだと、思わずにはられません。

著者紹介

鉄道ジャーナリスト
わたなべ しえ
渡部 史絵氏

鉄道にまつわる書籍執筆や監修を手がけ、その魅力を幅広く発信している。単行本や文庫本、月刊誌、新聞等の連載や寄稿など、執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多く行っている。

著書に『地下鉄の駅はものすごい』(平凡社)、『東京メトロ 知られざる超絶!世界』(河出書房新社)、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』『電車の進歩細見』『首都東京 地下鉄の秘密を探る』『鉄道なぜなにブック』(交通新聞社)、『譲渡された鉄道車両』『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『写真で振り返るJRダイヤ改正史』『鉄道ダイヤ改正 2020』(飛鳥出版)ほか、多数ある。

公式ブログ <http://ameblo.jp/shie-rail>
公式ツイッター <https://twitter.com/shierail>

令和元年度事業報告

埼玉県、埼玉県議会、地下7議員連盟へ要望書を提出

令和元年10月24日(木)に、地下鉄7号線延伸について国への事業認可申請着手を強く求める要望書をさいたま市清水市長ならびにさいたま市議会渋谷議長へ提出しましたことに続き、同年12月24日(火)、同旨の要望書を埼玉県大野知事ならびに、埼玉県議会神尾議長、地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟小島会長へ提出しました。期成会から江田会長(現相談役)、筑波副会長、さいたま商工会議所から池田会長、佐伯名誉会長、北副会長、安藤副会長、井原副会長、高橋副会長が出席しました。

当日は当期成会から要望書を提出すると共に、学校法人目白学園からもさいたま市への要望書提出に引き続き、鈴木事務局長次長に同行いただき、要望書が提出されました。

大野知事からは、「公約にも書かせていただいているので、しっかりと政治的な決断をさせていただきたく、関係部局と進めていきたい」と実現へ向けた力強い発言をいただきました。



当期成会の要望内容(概要)

知事ご就任以来、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、特に重点的な取り組みとして柱となる12の政策分野のひとつである「アクセス改善で移動しやすい、つながる埼玉へ」の具体的な取り組みとして、「SR(埼玉高速鉄道線)の延伸」を明記いただいております。

つきましては、大野知事のリーダーシップのもと、さいたま市及び埼玉県議会・さいたま市議会、さらには県民・企業・関係団体が一体となって、一日も早い地下鉄7号線 延伸の事業化実現をお願い申し上げます。

目白大学の要望書内容(抜粋)

岩槻キャンパスにおいて、学部・学科の新設を含む収容定員増を学園として検討してきましたが、これ以上の通学人数を支える交通手段の見込みが立たず断念してきた経緯があります。地下鉄7号線延伸により交通手段の問題が解決されれば、学生増による地域のにぎわい創出に貢献できると考えております。

地下鉄7号線延伸の早期事業化に向けて、格別なご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会

オールさいたま

二期成会とは「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

二期成会が行うこと

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。
2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。
3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に加入するには一趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業者の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会 役員名簿

(任期:令和2年4月1日~令和4年3月31日)

役職	氏名	名称・役職	役職
顧問	秋谷 文男	信越化学工業株式会社代表取締役副会長	経済
	宮本 雅弘	曙ブレーキ工業株式会社理事	経済
	安野 清	株式会社ベルーナ代表取締役社長	経済
相談役	江田 元之	さいたま商工会議所相談役	商工会議所
会長	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所名誉会長	商工会議所
	池田 一義	さいたま商工会議所会長	商工会議所
副会長	筑波 伸夫	さいたま観光国際協会会長	観光国際協会
	北 清治	さいたま商工会議所副会長	商工会議所
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会長	商工会議所
	井原 實	さいたま商工会議所副会長	商工会議所
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会長	商工会議所
	吉田 正信	見沼区自治会連合会会長	市民
	鈴木 甫	緑区自治会連合会会長	市民
	三宅 宣夫	岩槻区自治会連合会会長	市民
	大郷 恒吉	さいたま市商店会連合会会長	経済
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長	経済
	佐々木 隆浩	埼玉中央青年会議所理事長	経済
	小澤 日出行	岩槻工業団地事業協同組合理事長	経済
	久田 有	浦和大学学長	沿線大学
	沢崎 達夫	目白大学学長	沿線大学
理事	久住 眞理	人間総合科学大学学長	沿線大学
	立花 洋一	浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長	スポーツ
	森 正志	大宮アルティージャ代表取締役社長	スポーツ
	吉沢 浩之	見沼区長	沿線区長
	阿部 幸子	緑区長	沿線区長
	沼尻 裕一	岩槻区長	沿線区長
	山田 祐司	さいたま商工会議所政策委員会委員長	経済
	川村 郁夫	さいたま商工会議所街づくり・観光委員会委員長	経済
	新井 久夫	岩槻人形協同組合理事長	経済
	齋藤 進	さいたま市野球連盟連合会会長	スポーツ
	浜野 洋子	さいたま商工会議所女性会会長	商工会議所
	本橋 岳晴	さいたま商工会議所青年部会長	商工会議所
	長野 晋陸	さいたま商工会議所岩槻支部支部長	商工会議所
	松永 大祐	さいたま市建設協会副会長	経済
監事	矢部 憲春	さいたま商工会議所専務理事	商工会議所
	吉住 俊幸	さいたま市観光国際協会常務理事	観光国際協会

地下鉄7号線延伸地域『散策マップ』

地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

東京五輪2020競技大会をはじめ各種国際・世界大会の開催を見据え、外国人観光客への散策マップを作成しています。

また、本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム(絵文字)入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅地域を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。

(市内の各区役所窓口等で配布しております)

詳細・お問合せは下記まで

期成会事務局

さいたま商工会議所 まちづくり支援課

〒330-9626
さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720